レジデントの過ごし方

今回は「IVR」部門の
レジデントの1日
を紹介したいと思います！

当直やカンファレンスなど、画像診断をローテしているときと重複するものは
「画像診断」部門に掲載しているので、ぜひそちらも合わせてみてください✨

IVRローテ

2ヶ月ごとにセクションをローテートする研修システムになっています（Neuro, Head&Neck, Chest, Abdomen, RI, MSK, US, IVRなど）。

レジデントによってローテの仕方/分院へ異動する時期は異なります（以下は例）。

※

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	Chest		IVR		Neuro		Abd/GI		Head & Neck		RI	
2年目	MSK		US	国立成育医療研究センター			横浜市西部病院					
3年目	横浜市西部病院						Head & Neck		IVR		放射線治療	

IVRのローテーション中はみっちりIVRを学習します！

希望すれば、その他のローテーション中にも1週間に1日IVRの手技に入れます。

※分院の横浜市西部病院では週に３回IVRの日があり、レジデントはその手技に入ります。

IVRローテ中の1日の流れ

起床 & 準備

当日の手技の予習・上級医と相談

8：40 START 看護師/技師さん達との朝カンファレンス

AM IVR

12:00-12:30頃 BREAK Lunch

PM IVR

17:00-18:00 FINISH レポート記載・回診

復習・予習・カンファレンス・論文や学会発表の準備

Dinner & Free time

手技内容

血管系

- ✓ PICC挿入
- ✓ CVポート造設
- ✓ 外傷性出血、喀血、産後出血、憩室出血、腎生検後出血に対する塞栓術
- ✓ 肝細胞癌に対する化学動脈塞栓術（TACE）
- ✓ 内臓動脈瘤に対する動脈塞栓術
- ✓ シャントPTA
- ✓ 胃静脈瘤に対するBRTO
- ✓ 副腎静脈サンプリング

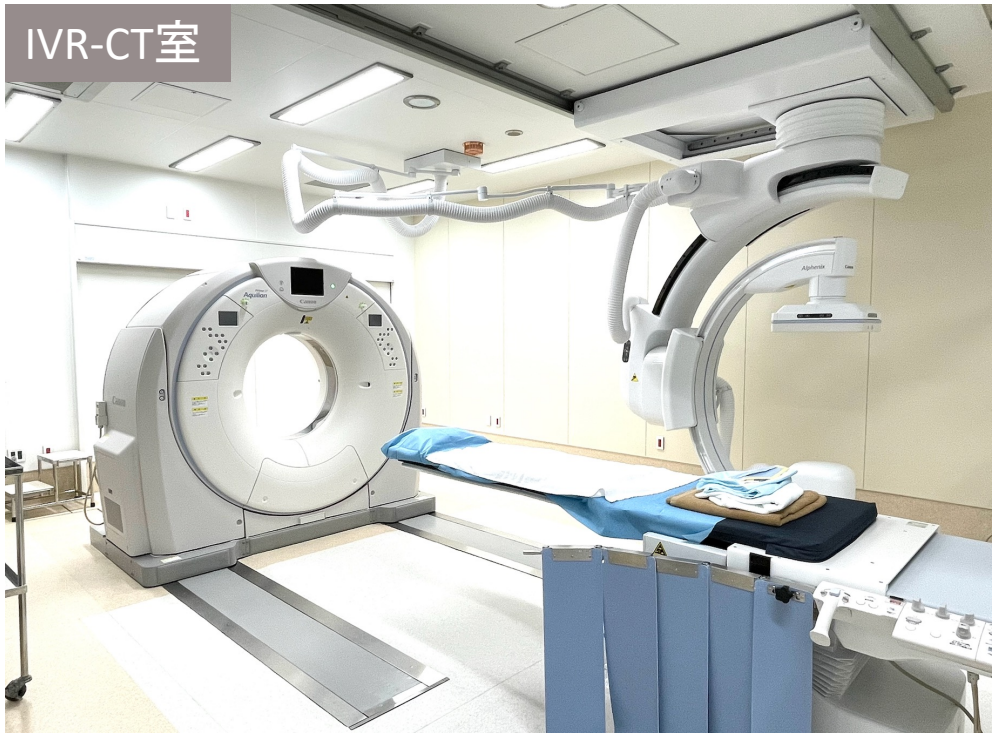
非血管系

- ✓ PTGBD, PTCD
- ✓ CTガイド下肺生検、骨生検
- ✓ 膿瘍ドレナージ
- ✓ イレウス管挿入

など豊富にあります。

Commonな手技から緊急IVR・専門性の高い手技まで、段階的に経験できます。

手技の様子



放射線科は主にアンギオ室の1～2部屋使用しています。

ER室にHERS (Hybrid ER System)があり、そこでも緊急の手技を行うことがあります。

定時の手技だけでなく、緊急IVR（高エネルギー外傷や産科出血など）にも、24時間365日対応しています！

IVRカンファレンス

毎週月曜の夕方にIVRカンファレンスを行って、次週のIVRに関して治療方針をみんなで検討したり、前の週に行った緊急IVRに関してレビューをしたりします。
日中に時間がある時には、上級医から個別レビューが行われることもあります。
月1で消化器内科とのカンファレンスも行われます。

手技終了後

手技がすべて終了したら、病棟患者さんの回診へ行きます。治療効果や合併症を確認します。

その後は、

- 執刀したIVR手技のレポートを記載
- 次の日の予習
- 学会の準備
- 読影
- 当直・おつき業務

などをして、帰宅します

IVRに関連する学会には、IVR総会や関東IVR、ドレナージ研究会、緩和IVR研究会など様々あります。
当院のレジデントは、学会発表の機会が沢山あります！
もちろん、指導医の先生がサポートしてくれるので安心です。

ぜひ見学お待ちしています！！